

# すいゆう

横浜市水友会  
横浜市保土ヶ谷区  
宮田町一―五―七  
発行責任者 石井栄一

Tel 442-6954



写真提供 鈴木 祐一氏 富士山

# 迎春

## 集い和やかに交流できる 魅力あふれる組織づくりに励む

一般社団法人 横浜市水友会

会長 石井 栄一



新年おめでとうございます。会員並びにご家族皆様方におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

年齢を重ねることに、一年があっという間に過ぎ去るそんな思いが強まる中で、2024年を迎えました。コロナ禍が本格化した20年度以降、生活にも様々な規制が設けられ不自由な生活を余儀なくされてまいりましたが、5類への移行後は人の往来も活発になり、水友会の行事である「施設見学会」では、67名の参加者が集い、昼の宴席では豪快な酒宴が広がり、楽しい会話が隔々で聞こえていました。

新しい・ネットの使い方が分からない等々、高齢者組織における情報伝達の難しさを痛感した次第です。引き続き良薬が講じられるよう努力してまいります。

これを記念して、12月6日に初めて実施した忘年カラオケ交流会は、3部構成により、多くの会員参加が得られ文化交流の実践化として成果を上げることができました。

水友会事業の現況は、年度途中における臨時的な委託事業もあり、順調に推移してきています。本年は、県央地域居住者や浄水場勤務経験のある会員の方々から協力を得て、企業団施設・相模原浄水場での小学校対応業務を委託業務として定着・推進してまいりますと考えており、元気で働きたい会員の方は、事務局へきたい一報をお願いいたします。今後とも、単年度の委託事業であっても積極的に関わり、

高齢化社会の中で一人でも多くの会員が仕事に向き合えるよう探求心を持って頑張っている所存です。

さて、水友会の会員数は450名を割る会員数となりました。本年度は、定年制の延長により、退職者はゼロとなり、2031年からは65歳定年となります。このように、退職者組織は、会員数の減少による組織の衰退がより一層進むものと思われませんが、一般社団法人として、事業と組織を一体化した取り組みと、「集い和やかに交流できる魅力溢れる組織」作りに励んでまいります。

最後になりますが、目を覆う悲惨な戦争が勃発しています。国内では政府権力者の指導により、憲法解釈を踏みにじる軍備増強や軍事物資の輸出等が平然と強化され、暮らしの礎である平和と民主主義が足もとから崩されています。高齢者の力を結集して安心して暮らせる社会を構築して行きますよう。

この1年が会員ご家族、皆様方にとって良き年であるようご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



# 今こそ現退一致で

## 生活に直結した取り組みを

横浜水道労働組合 執行委員長 的場 信也



新年おめでとうございます。横浜市水友会の皆様方におか

れましては、健やかに新年を迎えられますことを心よりお慶び申し上げます。

私たちを取り巻く状況は物価の高騰が相変わらず続いているなか、世帯主の65歳以上が増加している日本の人口動態の変化もあり、単純に個人消費が春闘で賃金が上がれば増えていくという経済構造

ではなくなってきた。年金の伸びも物価上昇を下回り、高齢者の消費に占めるシェアは拡大しているなか、年金の実質減少が消費の手控要因となっているということです。

さらに少子高齢化の進展に伴う社会保障の増加や赤字財政を背景に持続可能な社会保障制度の構築と安定した財源の確保を目的とした社会保障制度の改革が進められ、私たちの共済組合制度の存続も厳しい状況にあります。将来不安や生活不安のない安心安全社会の実現のため、私たちに

直結する生活・社会保障をはじめとするその取り組みが極めて重要となっています。そして今、ウクライナ情勢もあるなかで、イスラエルとハマスの軍事衝突により、無差別な暴力で多くの市民が犠牲になっています。悲惨な状況は長期化し、全世界が、政治経済が揺さぶられています。

戦争のない恒久平和の実現を心から祈り、引き続き、多くの仲間共感を得られる取り組みを現退一致でできうことを進めてまいります。平穏で良き年となりますよう本年もご祈念申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

# 水需要の減少を踏まえ

## 事業の最適化に取り組む

横浜市水道局 局長 山岡 秀一



明けましておめでとうございます。

日頃から、水道事業に、多大なご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

昨年は、西谷浄水場の再整備を進める中、10月には川井浄水場内の立坑からシールドマシンによる掘削を開始しました。

今年、4月から第3期の中期経営計画がスタートしま

す。また、将来の水需要の減少を踏まえた水道システムの再構築をはじめとする、水道事業の最適化に向けた様々な取組が本格的に動き出します。

今後、人口減少や物価高騰など経営環境は一層厳しさを増しますが、職員一丸となって事業を運営してまいります。

水友会の皆さまには、引き続きのご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

最後に、皆さまのますますのご健勝とご発展を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 2024年(令和6年)「新春の集い」開催のお知らせ

2024年1月13日(土)の「新春の集い」は、予定どおり開催いたします。

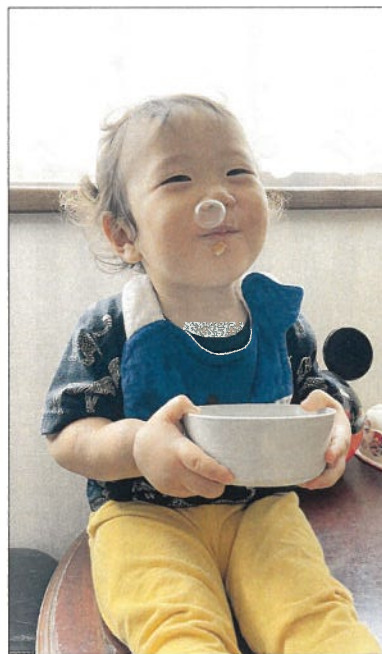
なお、出席を辞退されたい方は、1月9日(火)までに、事務局へ連絡をお願いします。

日時 2024年(令和6年)1月13日(土)

午前11時〜(2時間程度)

場所 ワークピア横浜2階

「おしどり・くじやく」の間



理文ちゃん 1歳5カ月  
はなぼこちゃん  
写真提供 Y・S



# 野比・久里浜を巡るハイキング

## 横須賀・三浦地区居住者会

秋のハイキングは、曇り空の中、11月11日(土)に横須賀・三浦地区居住者会・水友会ハイキング班のメンバー10名の参加を得て、実施されました。

午前10時に京急長沢駅に集合し、最初の目的地であ

る若山牧水資料館に向け出発、資料館を見学し、海岸に出て、若山牧水歌碑前を通り北下浦海岸通りから野比海岸をひたすら歩き、途中のバス停からバス組と徒歩組みに分かれ、くりはま

花の国入り口で合流後、東京湾や房総半島を眺めながら坂道を登り、12時過ぎに昼食場所のハーブ園に到着、テーブル席を確保し、気持ち良い空気の中で、ワインで乾杯し、昼食となりました。



2023年11月11日(土) くりはま花の国

十分休憩し、13時30分ゴジラ公園に向け出発、急な坂を登り、20分程で到着、休憩後、14時過ぎに懇親会場に向け出発、坂を下り15時頃に京

急久里浜駅前の懇親会場に到着、最初にビールで乾杯し、17時頃まで、楽しい会話で盛り上がり、充実した1日となりました。

(白杉敏幸)



### 乗り鉄2人旅・最終回 (東京湾1周)

鉄道を趣味とする人たちの中で、乗り鉄と呼ばれる人たちの分野も数多くあり、全国のJR・私鉄特急列車専門、観光列車専門、地方のローカル線専門、地方の

## 敬 弔

ご逝去を心からお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

田村 弘明様 (88歳) 令和5年7月 逝去  
藤井 彰様 (73歳) 令和5年11月23日 逝去



和田 五郎

私鉄専門などがあります。

そして、チャレンジ第7弾として、東京湾1周各駅停車2人旅を紹介します。乗車当日に大船駅で待ち合わせをして、大船駅発12時過ぎの君津行きに乗車、グリーン車に乗り、いつものとおりビールで乾杯し、今回の目的は東京湾上からの夕日を見る為、天気と日の入り時間を確認しました。

大船を出発すると、横浜過ぎまで東海道線、横浜からの京急線・京浜東北線、東京・千葉県内の総武線との並走を期待しましたが、実現しませんでした。14時30分頃に君津に到着、構内で休憩後、15時30分過ぎの君津発上総一ノ宮行きに乗車、16時過ぎに浜金谷到着、夕日の時間を考え、17時過ぎの金谷発久里浜行きの東京湾フェリーに乗船、18時過ぎに久里浜に到着、バスと徒歩でJR久里浜駅到着、18時30分過ぎの久里浜発成田空港行きに乗車、19時過ぎに大船駅に到着し、反省会を行い、22時過ぎに散会しました。

夕日の時間は、季節により異なりますので、天気と時間を検討しなければなりません。

(白杉敏幸)



麻雀班

第4回大会 伊東信一氏  
今年度2度目の優勝

水友会麻雀班第4回大会は、11月25日に区内「緑の館」で20人の仲間が集まり、親睦・交流の楽しい1日を過ごしました。

最終結果は、1組目の闘いで伊東氏がこれまでの好調さを発揮して3万2千点のトップをとり計12万1千点と圧勝し、今年度2度目の優勝を飾りました。準優勝は4回戦までで3位だった會澤氏が△1千点と粘って計7万8千点。3位は荒井氏が4回戦までの貯金のおかげで計7万点で入りました。4位は加藤氏が計4万8千点、5位は塚原氏が計2万9千点となりました。年間成績では、1位・伊東

第4回大会成績

順位	氏名	得点
優勝	伊東 信一	120,700
準優勝	會澤 賢治	78,400
第3位	荒井 守正	69,700
第4位	加藤 彰	48,000
第5位	塚原 美夫	28,900

年間成績

順位	氏名	得点
第1位	伊東 信一	330,400
第2位	加藤 彰	176,700
第3位	丸 保行	119,700
第4位	荒井 守正	98,800
第5位	會澤 賢治	81,200

いますか。

準優勝・會澤賢治氏Ⅱだんだん調子が上向きになってきたかな。これから勝負に出て、年間賞の入賞を狙っちゃ

氏が4大会で2度の優勝などで33万点で2位以下を15万点余離し有利な展開となっています。2位は加藤氏が4大会で安定して上位に入り17万7千点、3位・丸氏は優勝と準優勝し12万千点、4位は荒井氏9万9千点、5位・會澤氏8万1千点となっています。残り2大会となりましたが、伊東氏の独走に待ったがかけられるのか、また、3位以内の入賞争いは、残りの成績次第では逆転が可能な範囲であり、まだまだ息を抜けない厳しい勝負が続きます。

(芦沢春樹)

ゴルフ班

第40回大会  
中村晋氏 嬉しい初優勝

千葉県のみんそくゴルフクラブ鶴舞コースで、11月8日(水)に31人が参加して行われました。

前日は低気圧の影響で暴風雨がひどく、アクアラインも通行止めだった天候が一転、ウソのように快晴無風で絶好のゴルフ日和となりました。

参加者も笑顔で開会式に集まり、石井会長が体調不良で不参加のため、芦沢幹事より挨拶を受け、ルール説明を行ない、アウト・インに分かれてスタートしました。

第40回大会成績

順位	氏名	グロス	ハンデ	ネット
優勝	中村 晋	98	30.8	67.2
準優勝	山口 栄子	108	40.0	68.0
第3位	弓指 勝	85	16.6	68.4
第4位	大城 達司	93	24.3	68.7
第5位	野上 憲王	92	23.0	69.0

彰式会場

前半の9ホールを終え昼食休憩、喉も潤って後半のプレーへと臨みました。終了後お風呂で疲れを癒やして表

へ。結果は、別表にあるように、ハンデの多い中村晋氏と山口栄子氏が優勝・準優勝となり、3位はベスグロの弓指勝氏となりました。

囲碁班

熱戦の結果  
横水OB親睦囲碁大会  
鈴木七段優勝

10月19日(木)に横水会館2階第4会議室において、「横水OB親睦囲碁大会」を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、集合時間の12時45分には、8名の参加者が元気よく集まりました。

優勝した中村氏・山口氏の両名共に「ドライバーの調子が良かった結果です」と喜びを語ってくれました。

今回は、2024年3月27日に足柄森林カントリー倶楽部で行うこととし、表彰式を終了し家路へと向かいました。(浦崎満男)



抽選により対戦相手を決め、ルール等の説明の後、対局開始となりました。持ち点によるハンディ戦とし、一人35分の持ち時間で、3局対戦しました。3時間半にわたる熱戦の結果、全勝の鈴木七段が優勝、2勝1敗が4人おりましたが勝ち目数の差により、準優勝は、宮井初段、三位は戸沢四段で、敢闘賞には松本五段、山田七段の二名、特別賞は清田三段、ラッキー賞は松本五段の皆様でした。参加メンバー(敬称略) 鈴木榮一、清田松男、戸沢 東、鍋島隆幸、細田家司、松本 昭、宮井國雄、山田敏行